

ユーストア篠木店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

開店時刻を午前10時(年間3日午前9時)から午前9時に繰上げる。これに伴い、来客駐車場利用時間帯を午前9時30分(年間3日午前8時30分)から午後9時30分までを午前8時30分から午後9時30分までとする。(法附則第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日	平成19年11月5日			
店舗	店舗名称	ユーストア篠木店		
	店舗所在地	春日井市下市場町3-6-2ほか18筆		
設置者	名称	株式会社ユーストア		
	代表者	代表取締役 松田 邦男		
	住所	稲沢市天池五反田町1		
	備考	なし		
小売業者	名称	株式会社ユーストア		
	代表者	代表取締役 松田 邦男		
	住所	稲沢市天池五反田町1		
	備考	ほか6名		
		変更前	変更後	
店舗面積		5,441 m ²	5,307 m ²	
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり	変更前に同じ
		台数	236 台	同
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり	同
		台数	127 台	同
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり	同
		面積	323.76 m ²	同
	廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり	同
		容量	166.2 m ³	同
施設の運営	営業時間	開店	午前10時(年間3日午前9時)	午前9時
		閉店	午後9時	変更前に同じ
	駐車場利用時間帯		午前9時30分(年間3日午前8時30分)から午後9時30分まで	午前8時30分から午後9時30分まで
	駐車場出入口	数	6箇所	変更前に同じ
		位置	別紙図面のとおり	同
荷捌時間帯		午前6時から午後10時まで	同	
変更する理由	顧客利便性向上のため			
変更する日	平成19年11月16日(店舗面積の合計)及び平成19年12月29日(施設の運営方法に関する事項)			

3 参考事項

敷地面積	9,347 m ²			
建築面積	3,746 m ²			
延床面積	7,466 m ²			
業態	総合店			
用途地域	準住居地域	第1種中高層住居専用地域	近隣商業地域	—
備考	平成3年11月 開店			

ユーストア篠木店

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	なし
(2) 深夜営業の対応	深夜営業は行わない
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため不要
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施
(7) 通年の臨時措置	なし
(8) 開店時の臨時措置	既存店のため必要なし

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積	日來客数 原単位 (人/千㎡)	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車 時間係数	必要駐車台数
302,823人	5,307 ㎡	950	14.40%	1,100 m	70.00%	2.00 人	0.99	251 台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	併設施設駐車台数	来客用駐車台数	評価
266 台	30 台	0 台	0 台	0 台	236 台	

b 指針によらない「特別な事情」による算出

当店舗の指針必要駐車台数は251台に対し、当店舗の駐車台数は236台と指針必要駐車台数251台を下回っているが、現営業において駐車場が不足する状況はみられない。平成19年6月の各日曜日及び火曜日のピーク時(18時台)駐車台数は平面駐車場と屋上駐車場を合わせ最大で165台であり十分に充足している。

(イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

a 指針の参考式による算出

併設施設 の面積	併設施設の割合 (併設施設面積/店舗面積)	必要駐車台数
439 ㎡	8.3%	251 台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	来客用駐車台数	評価
266 台	30 台	0 台	0 台	236 台	

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走ハレータ-:無	2平面自走ハレータ-:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
3箇所	0箇所	0箇所	0箇所	254 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

平面 駐車場	種別	1	収容台数	117 台	歩行者動線	分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	アイドリングストップ表示板	
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	判定
東	1箇所	市町村道	6m	なし	3m	1m	予測なし	双方向	右左折混合	なし	-
西	1箇所	市町村道	6m	なし	3m	1m	予測なし	双方向	右左折混合	なし	-
南	1箇所	市町村道	6m	なし	35m	7m	予測なし	双方向	右左折混合	なし	-
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	なし	-
交通整理員等の配置		なし									

屋上 駐車場	種別	1	収容台数	110 台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	アイドリングストップ表示板	
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	判定
東	1箇所	市町村道	6m	なし	5m	100m	予測なし	双方向	右左折混合	なし	-
西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	1箇所	市町村道	6m	なし	1m	100m	予測なし	双方向	右左折混合	なし	-
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通整理員等の配置		なし									

ユーストア篠木店

平面 駐 車 場	種別	1	収容台数	9台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	アイドリングストップ表示板		
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	判定	
	東	1箇所	市町村道	6m	なし	8m	3m	予測なし	双方向	右左折混合	なし	-
	西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
交通整理員等の配置		なし										

評価	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
未実施	未実施	未実施	未実施

(ア) 交通飽和度の検討

未実施

周辺道路の混雑を回避するための対策等

特になし

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗敷地南西に2箇所
駐輪場の収容台数	127台
標準収容台数	152台
収容台数根拠	現在の駐輪場利用状況をみると、127台で充足し、問題は発生していない。

位置評価	台数評価

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	なし	収容台数	0台
位置及び箇所	-		
駐輪場と共用			

位置評価	台数評価
-	-

キ 荷捌施設の整備等

(ア) 荷捌施設の整備

荷捌き施設 -1

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	180.43㎡	あり	20分	3台	8台	

荷捌き施設 -2

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	143.43㎡	あり	20分	2台	2台	

(イ) 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
6:00~9:00	8台	7:00~8:00	11:00~12:00	あり	4台分	

ク 経路の設定等

(ア) 車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置なし	-	非回避	回避	回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
なし	あり	非配備

非配備の場合等の対応

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

ユーストア篠木店

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力 事業なし	評価
--------------------------	----

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持 必要なし	通行妨害施設 なし	閉店後の夜間照明の設置 必要なし	評価
---------------------	--------------	---------------------	----

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画 実施	リサイクル活動推進計画 実施	評価
----------------	-------------------	----

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

非難場所の提供 締結可能	物資の緊急提供 締結可能	その他
-----------------	-----------------	-----

b 防犯への協力

夜間照明の配置 -	警備員等の巡回 -	その他	評価
--------------	--------------	-----	----

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	8 m	38 m	来客車両・荷捌き施設	なし	なし	-
西方向	18 m	なし	設備機器・来客車両	なし	なし	-
南方向	25 m	なし	来客車両	なし	なし	-
北方向	33 m	なし	設備機器・来客車両	なし	なし	-

遮音壁の影響	遮音壁設置なし
--------	---------

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌き施設建築計画面での配慮	荷捌き施設の十分なスペースの確保
荷捌作業運営面での配慮	アイリングストップ、時間調整による搬入待機車削減
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	-
給排気口等からの騒音配慮	-
駐車場からの騒音配慮	周辺道路との段差をなくす
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避
経年劣化等の事後対策	機器周辺の防音措置の強化、機器の配置の見直し・更新

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	-
運営面の騒音配慮	-

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	25	冷却塔	1	給排気口		変電施設		浄化槽		ポンプ			
		冷凍機室外機	25	キューピクル		換気扇	9								
変動騒音	自動車走行		後進警報ブザー		台車走行			BGM		アナウンス					
	ゴミ収集作業		アイリング												
衝撃騒音	荷降し音		台車走行												
建物の構造(高さ)		鉄骨造2階建(9.0m)													

ユーストア篠木店

(ア)等価騒音レベル予測

		A北	B東	C東	D南
用途地域		準工業地域	第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域
昼間基準値		60 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		50 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	49.9 dB	53.0 dB	50.7 dB	46.9 dB
	評価				
設置者	夜間等価騒音レベル	48.0 dB	38.2 dB	36.5 dB	28.3 dB
	評価				
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当

		E西	F西
用途地域		準住居地域	準住居地域
昼間基準値		55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	44.1 dB	50.5 dB
	評価		
設置者	夜間等価騒音レベル	28.7 dB	30.8 dB
	評価		
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当

基準値を超えた場合の対応等

--

(イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無	有			
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か				
上記A・Bの具体的内容 店舗西側に病院				
用途地域		ア北	イ東	ウ西
基準値を5dB減する要因		なし	なし	あり
基準値		50dB	50dB	45dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	70dB	39.8dB	32dB
	評価			
設置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	-	-	-
	評価	-	-	-
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	-	-	-

基準値を超えた場合の対応等

<p>予測点アは夜間稼動する機器と敷地境界線が近い為、予測値が70.0dBと規制基準を上回るが、直近の県道内津勝川線の道路幅員が14.5mあり、道路反対側の予測点A(準工業地域)での騒音レベル最大値は48.0dBと基準値以内となる。また、予測点A周辺には住居がなく周辺への騒音の影響は小さいと考えられる。</p>
--

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	生ゴミ庫は冷蔵設備を設置
衛生問題関係配慮	各保管庫に洗浄設備あり

ユーストア篠木店

(ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

<物販施設>

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	51.89 m ³	1日	1.104 t	0.10 t/m ³	11.04 m ³	変更なし	
金属製廃棄物用	46.85 m ³	3.5日	0.037 t	0.10 t/m ³	1.30 m ³	変更なし	
ガラス製廃棄物用		3.5日	0.032 t	0.10 t/m ³	1.12 m ³	変更なし	
プラスチック製廃棄物用		3.5日	0.106 t	0.01 t/m ³	37.10 m ³	変更なし	
生ごみ用	66.46 m ³	1日	0.897 t	0.55 t/m ³	1.63 m ³	変更なし	
その他可燃性廃棄物用	1.00 m ³	1日	0.287 t	0.38 t/m ³	0.76 m ³	変更なし	
合計	166.20 m ³	-	-	-	52.94 m ³	-	

<飲食施設>

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	小売店と共用	1日	0.066 t	0.10 t/m ³	0.66 m ³	変更なし	
金属製廃棄物用	小売店と共用	3.5日	0.002 t	0.10 t/m ³	0.08 m ³	変更なし	
ガラス製廃棄物用		3.5日	0.002 t	0.10 t/m ³	0.07 m ³	変更なし	
プラスチック製廃棄物用		3.5日	0.006 t	0.01 t/m ³	2.21 m ³	変更なし	
生ごみ用	小売店と共用	1日	0.063 t	0.55 t/m ³	0.11 m ³	変更なし	
その他可燃性廃棄物用	小売店と共用	1日	0.017 t	0.38 t/m ³	0.04 m ³	変更なし	
合計	小売店と共用	-	-	-	3.16 m ³	-	

<サービス施設>

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	小売店と共用	1日	0.026 t	0.10 t/m ³	0.26 m ³	変更なし	
金属製廃棄物用	小売店と共用	3.5日	0.001 t	0.10 t/m ³	0.02 m ³	変更なし	
ガラス製廃棄物用		3.5日	0.001 t	0.10 t/m ³	0.04 m ³	変更なし	
プラスチック製廃棄物用		3.5日	0.002 t	0.01 t/m ³	0.86 m ³	変更なし	
生ごみ用	小売店と共用	1日	0.021 t	0.55 t/m ³	0.04 m ³	変更なし	
その他可燃性廃棄物用	小売店と共用	1日	0.007 t	0.38 t/m ³	0.02 m ³	変更なし	
合計	小売店と共用	-	-	-	1.23 m ³	-	

保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく
見かけ比重変更の理由	変更なし
指針と異なる算定式の使用	変更なし

b その他の廃棄物等
なし

(イ)小売店舗以外の施設の必要保管容量

a 飲食店の廃棄物等

取扱品目	飲食店の面積	飲食店の保管容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更
生ごみ等用	316 m ²	小売業と共用	-	-	-	-	-
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

取扱品目	届出容量	小売店舗以外の必要保管容量	施設全体の必要保管容量	評価
紙廃棄物用	51.89 m ³	0.92 m ³	12.00 m ³	
金属製廃棄物用	46.85 m ³	0.10 m ³	1.40 m ³	
ガラス製廃棄物用		0.11 m ³	1.20 m ³	
プラスチック製廃棄物用		3.07 m ³	40.20 m ³	
生ごみ用	66.46 m ³	0.15 m ³	1.70 m ³	
その他可燃性廃棄物用	1.00 m ³	0.06 m ³	0.80 m ³	
合計	166.20 m ³	4.41 m ³	57.30 m ³	

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	なし	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	あり
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	あり
その他	なし	その他	なし

ユーストア篠木店

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控える。
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	あり
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	(有)ケーアイ
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	悪臭対策として汚水マスの洗浄を行う
併設施設からの悪臭防止対策	毎日清掃を実施

評価

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	特になし
市町村等の公的計画への協力	特になし
照明等の配慮	特になし
敷地内の緑地計画	特になし

評価

市町村の意見概要	対応
意見なし	-

住民等の意見の概要	対応
意見なし	-

県の意見案
意見なし